



## 2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社 I G ポート 上場取引所 東  
コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 栗本典博 TEL 0422-53-0257  
半期報告書提出予定日 2025年1月10日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	7,689	47.0	825	38.0	830	10.7	473	△13.5
2024年5月期中間期	5,229	△7.0	598	25.5	749	46.1	547	43.0

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 448百万円 (△18.7%) 2024年5月期中間期 551百万円 (40.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	24.77	—
2024年5月期中間期	28.75	—

(注) 当社は、2024年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	12,751	7,477	58.6
2024年5月期	14,001	7,318	52.1

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 7,473百万円 2024年5月期 7,290百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年5月期	—	0.00	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2024年5月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、2025年5月期（予想）の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,993	9.7	1,737	41.8	1,718	24.5	1,116	△3.6	58.35

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期中間期	20,221,600株	2024年5月期	20,221,600株
② 期末自己株式数	2025年5月期中間期	1,091,592株	2024年5月期	1,091,496株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年5月期中間期	19,130,030株	2024年5月期中間期	19,050,688株

（注）当社は2024年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、地政学的リスクの長期化や、米国での大統領選でトランプ氏の再選が決まり、貿易政策において保護主義的な姿勢が強まったこと等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は7,689,001千円(前年同期比47.0%増)、経常利益は830,382千円(前年同期比10.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は473,780千円(前年同期比13.5%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーションは「真・侍伝YAIBA」「怪獣8号 続編」「SPY × FAMILY Season 3」等、配信用アニメーションは「THE ONE PIECE」「ムーンライズ」等、納品へ向けそれぞれ制作しており、テレビ用アニメーションの「シンカリオン チェンジ ザ ワールド」は、納品しテレビでの放映となりました。その他に、遊技機やCM等のアニメーションを制作し納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化や、人件費、CG制作費等の外注費等が高騰しており、受注損失引当金を計上しております。

以上により、当事業の売上高は3,318,493千円(前年同期比18.5%増)、営業損失は699,097千円(前年同期は122,433千円の営業損失)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔導具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～7巻」「転生貴族の異世界冒険録12巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍77点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔導具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～」「転生貴族の異世界冒険録」「リンカーネーションの花弁」は、特に販売好調でありました。

なお、「小説家になろう」「異世界転生」といった電子書籍市場で人気ジャンルであった作品の、続刊作品や新規作品の1巻目の販売数が全体的に伸び悩む傾向が出てきており、今後も市場需要・供給の変化を見極めながら対応していく予定です。

以上により、当事業の売上高は刊行スケジュールの大幅な変更があり1,172,848千円(前年同期比4.5%減)、営業利益は260,556千円(前年同期比10.2%減)となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「君に届け」「ハイキュー!!」「怪獣8号」「進撃の巨人」「バブル BUBBLE」「SPY × FAMILY」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

「君に届け 3RD SEASON」は、第1四半期連結会計期間に、配信事業者からのライセンス収入がすべて一括で計上されております。

以上により、当事業の売上高は2,832,614千円(前年同期比169.5%増)、減価償却費は前年同期と比べ増加しておりますが、営業利益は1,275,998千円(前年同期比154.7%増)となりました。

#### ④ その他事業

その他事業におきましては、人気作品のキャラクターの商品化が好調に推移したことや、雑誌のイラスト描き等で、当事業の売上高は365,045千円(前年同期比143.8%増)、営業利益は60,708千円(前年同期比2,099.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,250,172千円減少して12,751,501千円となりました。主な要因は売掛金及び契約資産が1,704,553千円、映像マスターが91,963千円増加し、一方、現金及び預金が1,871,515千円、コンテンツ資産が1,048,075千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,409,218千円減少して5,274,406千円となりました。主な要因は未払法人税等が157,480千円増加し、一方、未払印税が895,593千円、前受金が477,184千円、1年内返済予定の長期借入金が200,000千円、買掛金が166,615千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ159,045千円増加して7,477,094千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する中間純利益の計上及び配当金の支払いの結果、利益剰余金は184,393千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ1,871,515千円減少し、5,875,309千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、1,021,348千円(前年同期は1,246,252千円の増加)となりました。これは主に、減価償却費が1,280,457千円、税金等調整前中間純利益が829,159千円、一方、売上債権の増加額が1,703,015千円、未払印税の減少額が895,593千円、前受金の減少額が477,184千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、351,641千円(前年同期は679,852千円の減少)となりました。これは主に、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が299,092千円、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が47,157千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、494,301千円(前年同期は196,710千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額が288,532千円、長期借入金の返済による支出が200,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、2024年7月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,756,943	5,885,427
売掛金及び契約資産	2,289,270	3,993,823
商品及び製品	123,910	141,913
仕掛品	20,451	21,379
貯蔵品	10,266	9,461
前渡金	137,072	161,030
その他	378,955	151,560
貸倒引当金	△4,328	△4,368
流動資産合計	10,712,542	10,360,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	479,508	470,836
土地	651,249	651,249
映像マスター(純額)	143,538	235,501
その他(純額)	197,931	194,365
有形固定資産合計	1,472,228	1,551,953
無形固定資産		
コンテンツ資産	1,067,670	19,594
その他	36,513	67,547
無形固定資産合計	1,104,184	87,142
投資その他の資産		
投資有価証券	261,845	290,467
その他	450,873	461,711
投資その他の資産合計	712,719	752,178
固定資産合計	3,289,131	2,391,274
資産合計	14,001,674	12,751,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	922,989	756,373
1年内返済予定の長期借入金	200,000	—
未払金	305,391	272,935
未払印税	1,350,441	454,847
未払法人税等	277,851	435,332
前受金	1,951,140	1,473,955
預り金	339,900	368,538
賞与引当金	—	1,020
役員賞与引当金	111,263	15,462
受注損失引当金	379,456	365,562
その他	444,235	724,668
流動負債合計	6,282,669	4,868,696
固定負債		
株式給付引当金	34,626	34,626
退職給付に係る負債	121,351	124,596
役員退職慰労引当金	96,275	101,269
その他	148,702	145,218
固定負債合計	400,955	405,709
負債合計	6,683,625	5,274,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,258,560	2,258,560
利益剰余金	4,654,407	4,838,800
自己株式	△417,444	△417,555
株主資本合計	7,277,023	7,461,305
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,462	11,851
その他の包括利益累計額合計	13,462	11,851
非支配株主持分	27,562	3,937
純資産合計	7,318,048	7,477,094
負債純資産合計	14,001,674	12,751,501

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	5,229,634	7,689,001
売上原価	3,990,935	6,079,799
売上総利益	1,238,699	1,609,201
販売費及び一般管理費	640,473	783,452
営業利益	598,225	825,749
営業外収益		
受取利息	206	818
持分法による投資利益	1,816	10,034
投資事業組合運用益	128,848	—
為替差益	698	—
受取賃貸料	14,775	11,735
受取手数料	16,556	—
補助金収入	198	—
その他	2,844	3,448
営業外収益合計	165,944	26,036
営業外費用		
支払利息	191	46
為替差損	—	837
賃貸収入原価	10,043	11,171
投資事業組合運用損	—	1,294
雑損失	—	7,189
その他	4,007	863
営業外費用合計	14,242	21,403
経常利益	749,928	830,382
特別損失		
減損損失	—	1,222
特別損失合計	—	1,222
税金等調整前中間純利益	749,928	829,159
法人税、住民税及び事業税	202,992	397,908
法人税等調整額	△846	△19,243
法人税等合計	202,145	378,665
中間純利益	547,782	450,494
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	△23,286
親会社株主に帰属する中間純利益	547,782	473,780



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	547,782	450,494
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,083	△1,610
その他の包括利益合計	4,083	△1,610
中間包括利益	551,865	448,883
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	551,865	472,169
非支配株主に係る中間包括利益	—	△23,286

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	749,928	829,159
減価償却費	288,226	1,280,457
減損損失	—	1,222
長期前払費用償却額	1,503	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,190	40
受注損失引当金の増減額(△は減少)	163,050	△13,893
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,260	1,020
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△96,306	△95,801
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△105,966	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,235	3,244
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,994	4,994
受取利息及び受取配当金	△206	△818
補助金収入	△198	—
為替差損益(△は益)	△698	837
支払利息	191	46
持分法による投資損益(△は益)	△1,816	△10,034
投資事業組合運用損益(△は益)	△128,848	1,294
売上債権の増減額(△は増加)	819,333	△1,703,015
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,910	△18,125
立替金の増減額(△は増加)	△2,906	1,239
仕入債務の増減額(△は減少)	55,983	△166,450
未払印税の増減額(△は減少)	△259,907	△895,593
未払金の増減額(△は減少)	△50,541	△29,234
預り金の増減額(△は減少)	△151,365	28,637
前受金の増減額(△は減少)	△101,601	△477,184
前渡金の増減額(△は増加)	△67,860	△23,957
未収消費税等の増減額(△は増加)	△38,957	55,978
未払消費税等の増減額(△は減少)	△156,780	82,669
その他	257,023	331,798
小計	1,188,869	△811,453
利息及び配当金の受取額	206	818
利息の支払額	△189	—
補助金の受取額	198	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	57,168	△210,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246,252	△1,021,348
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△270,584	△299,092
無形固定資産の取得による支出	△401,534	△47,157
投資有価証券の取得による支出	—	△20,011
保険積立金の積立による支出	△1,658	△1,357
保険積立金の解約による収入	—	24,779
差入保証金の差入による支出	△1,598	△4,271
その他	△4,476	△4,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△679,852	△351,641

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△200,000
配当金の支払額	△191,945	△288,532
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,609	△5,657
自己株式の取得による支出	△155	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,710	△494,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,002	△4,223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	372,691	△1,871,515
現金及び現金同等物の期首残高	6,118,291	7,746,825
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,490,983	5,875,309

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,117,376	—	—	2,117,376	—	2,117,376
劇場用のアニメ映像制作	442,511	—	—	442,511	—	442,511
その他のアニメ映像制作	228,538	—	—	228,538	—	228,538
コミック・書籍の出版販売	—	254,432	—	254,432	—	254,432
電子書籍の販売	—	969,002	—	969,002	—	969,002
映像コンテンツの著作権料	—	—	396,835	396,835	—	396,835
出版物に係る原作印税収入	—	—	155,055	155,055	—	155,055
その他	11,877	5,273	28,237	45,387	149,733	195,121
顧客との契約から生じる収益	2,800,303	1,228,708	580,127	4,609,139	149,733	4,758,873
その他の収益 (注) 2	—	—	470,760	470,760	—	470,760
外部顧客への売上高	2,800,303	1,228,708	1,050,888	5,079,900	149,733	5,229,634
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,800,303	1,228,708	1,050,888	5,079,900	149,733	5,229,634
セグメント利益又は損失 (△)	△122,433	290,144	501,067	668,778	2,759	671,538

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	668,778
「その他」の区分の利益	2,759
全社費用(注)	△73,312
中間連結損益計算書の営業利益	598,225

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,602,575	—	—	2,602,575	—	2,602,575
劇場用のアニメ映像制作	150,867	—	—	150,867	—	150,867
その他のアニメ映像制作	510,024	—	—	510,024	—	510,024
コミック・書籍の出版販売	—	202,817	—	202,817	—	202,817
電子書籍の販売	—	970,030	—	970,030	—	970,030
映像コンテンツの著作権料	—	—	2,037,371	2,037,371	—	2,037,371
出版物に係る原作印税収入	—	—	155,559	155,559	—	155,559
その他	55,025	—	19,603	74,628	365,045	439,673
顧客との契約から生じる収益	3,318,493	1,172,848	2,212,534	6,703,875	365,045	7,068,921
その他の収益(注)2	—	—	620,080	620,080	—	620,080
外部顧客への売上高	3,318,493	1,172,848	2,832,614	7,323,955	365,045	7,689,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,318,493	1,172,848	2,832,614	7,323,955	365,045	7,689,001
セグメント利益又は損失 (△)	△699,097	260,556	1,275,998	837,457	60,708	898,165

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	837,457
「その他」の区分の利益	60,708
全社費用(注)	△72,416
中間連結損益計算書の営業利益	825,749

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産にかかる重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失1,222千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。